

私たちの生活から出る ごみについて考えよう

(ものとエネルギーを大切に作る循環のまちづくり「循環型社会」)

町内の環境を守るために、毎月1日号に環境に関する記事を掲載します。

住民のみなさんのご協力のもと、平成31年4月から「家庭系可燃ごみ処理有料化」を実施し、ごみの減量に積極的に取り組んでいます。今回は、私たちに身近な「ごみ」について考えてみましょう。



●問い合わせ 環境課 内線 282

7月末から
特小ごみ袋販売中!

私たちの生活からは 多くのごみが出ています

私たちの社会では欲しい物があれば買うことができます。便利な生活をするため、多くの物を作り、多くの物を捨ててきました。その結果、多くのごみが発生しています。

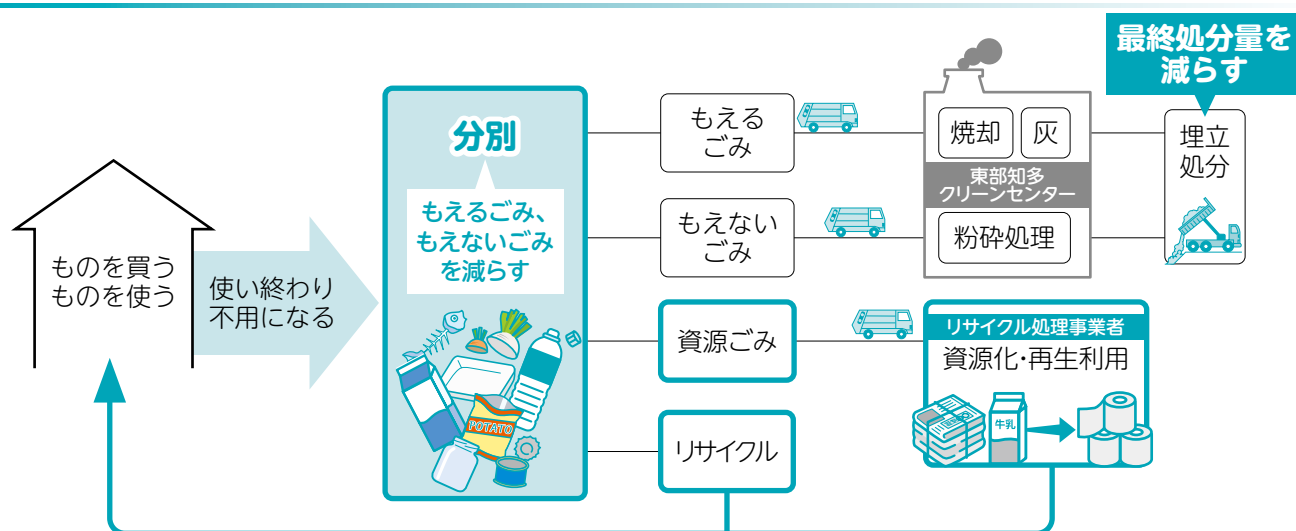
このままごみが増え続けると、埋め立てる場所がなくなります。新しい埋め立て場所を探すのは大変なことです。また、ごみの処理には費用もかかります。可燃・不燃ごみを減らすことや分別してリサイクルすることが必要です。

町が収集した家庭系ごみの推移

※上段は年間収集量、
下段は人口1人当たりの収集量(人口は各年9月末日現在)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
もえるごみ	9,120t 181kg/人	9,301t 186kg/人	7,868t 157kg/人
もえないごみ	291t 5.8kg/人	366t 7.3kg/人	310t 6.2kg/人
資源ごみ	2,357t 47kg/人	2,328t 46kg/人	2,336t 47kg/人
合計	11,768t 233kg/人	11,995t 239kg/人	10,514t 210kg/人

ごみはどうやって処理しているの？



語句の説明

・**循環型社会**…なるべくごみを出さず、できるだけ資源として使い、どうしても使えないごみはきちんと処分することで、大切な資源を有効に活用して環境への負荷をできるかぎり低

減される社会のこと。

・**アスパ**…発酵合成型有機肥料のこと。生ごみに振りかけると10日ほどで有機肥料に変化し、庭木や菜園の肥料として利用することができる。

・**リターナブルびん**…回収、詰め替えをすることによって、何度も利用できる容器(びん)のこと。「生きびん」や「リユースびん」と呼ばれることもある。

今すぐできる！家庭でのごみ減量対策

SDGsの達成

「5R」を実践！～モノを購入するところから考えて～



家庭から出されるごみのうち、約25%はまだ使えるもの、資源化できるものやまだ食べられる食品と言われています。分別をしている方でも、ごみの減量ができるものが残されているかもしれません。ごみを減らすためには、「資源を消費するだけ」から「資源を繰り返し使う」にシフトすることが重要です。最近では、「5R」の実践がごみの更なる減量に有効であると言われています。



1 Refuse (リフューズ) 不用なものはもらわない

本当に必要な物だけを買ったりもらったりすることを心がけましょう。

例：マイバック

を持参してレジ袋は買わない、過剰な包装を断る、試供品などは使いきる など



【町の取組み】

小売店と町のレジ袋削減に向けた取組みに関する協定に基づき、レジ袋の削減を推進

2 Reduce (リデュース) ごみを発生させない

不用な物をできるだけ減らし、なるべくごみが発生しないようにしましょう。

例：必要な物だけ購入する、食品を買いすぎない、食べ残さない、詰め替え製品を活用する、レンタル品の利用を考える など

【町の取組み】

- ・樹木のせん定枝のチップ化を促進するため、粉碎機の貸し出し
- ・アスパ*を無料配布し、生ごみのたい肥化によるごみの減量をPR

3 Reuse (リユース) 繰り返し使う

ごみを生み出さないためには、物を大切に使い、繰り返し・長く使うことを心がけましょう。

例：リサイクルショップ、フリーマーケットなどを利用する、リターナブルびん*を利用する など

【町の取組み】

- ・図書館では本のリサイクルフェアを開催

※問い合わせ 中央図書館

☎84-2800

- ・三輪車、ベビーカーや自転車の不用品の無償配布

4 Repair (リペア) 修理して使う

捨てる前に、修理して使えないかを考えてみましょう。

例：少しの破損や故障であれば、修理して使う など

【町の取組み】

おもちゃのお医者さんで、おもちゃを修理する

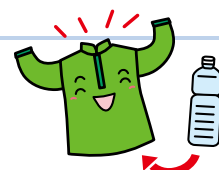
※問い合わせ

総合子育て支援センター
(うららん) ☎83-8851

5 Recycle (リサイクル) 資源として再生利用

資源ごみとして集められた物は、再生工場でリサイクルされ、新しい製品の原材料などとして利用されます。

例：分別の方法を正しく理解して、回収場所に適切に出す、使用した植物性食用油は、紙に浸み込ませたり、固めたりせず、資源ごみとして出す など



【町の取組み】

- ・ごみの分け方・出し方のチラシを発行し、ごみの分別を推進
- ・町内に在住・在勤または在学する団体(約10名以上)を対象に、ごみの分け方・出し方についての出前講座を開催
- ・植物性食用油を資源ごみとして回収



「捨てればごみ、分ければ資源」を合言葉にごみを減らしていきましょう

東浦町
環境基本計画
実施計画

